



2025年度 みやこ基金



みやこ基金は、高松市在住の方が設置しました。子どもたちが健やかに成長し、心やさしい人間になってほしいという、故人の想いを込めてお名前を冠しています。子どもたちが楽しい思い出をつくり、他者を思いやるようなきっかけを得ることができる文化・芸術体験を子どもたちに提供する高松のプロジェクトを支援しました。

各プロジェクトの内容は
ホームページをご覧ください。



助成総額 746,360円

助成件数 8件
※1件あたり10万円まで

本助成プログラムは冠基金の仕組みを活用しています。冠基金とは、個人または法人・団体等が寄付を行い、寄付者の名を冠した基金を作って地域を応援できる仕組みです。

積極的な関わりで、自信に満ちた顔へ

プロジェクト名 書き初めからはじまる、ひと、まち、せかいの輪！

団体名 西宝町みんなの居場所

栗林公園にて、書き初め大会を開催しました。運営には小学生から地域の大人まで20名以上の人たちが関わり、交流しながら当日までの準備を進めました。内に籠りがちな小学6年生の子が、自らチラシ配りやイベントの宣伝を積極的にしてくれている姿が印象に残っています。表情も柔らかく自信に満ちた顔へと変化を感じました。異文化交流に関心がある中高生たちも「書」を通して外国人の方ともコミュニケーションをとり、さらに英語学習への意欲を高めました。

助成額 100,000円



親子共々、生まれてはじめての人形劇

プロジェクト名 法人認可50周年記念「ブーク人形劇鑑賞」

団体名 社会福祉法人こぶし福祉会こぶし中央保育園

今年は法人認可50年という年にあたり、園内の子どもたちだけでなく、地域の親子、学童の子どもたち、保護者にも、人形劇団ブークによる人形劇を鑑賞していただきました。子どもたちは、登場人物の気持ちになるのか、応援したり歓声をあげたりしていました。アンケート等では、大きな人形での人形劇や劇団員さんのパフォーマンスを親子で見る機会は非日常で、大変楽しかったという声が多数ありました。

助成額 100,000円



小さな成功体験を積み重ねる

プロジェクト名 フレンドシップインオータムワークショップ「つながるアトリエ」

団体名 フレンドシップ実行委員会

「星の王子さま」をテーマに、不登校の子どもたちが作品づくりを通して自分を表現したり、誰かとゆるやかにつながったりできる場を開催しました。不登校の子どもたちは、アート作品の制作に高い興味を持っていました。手を動かしたこと、頑張ったことが目の前で形になっていくので、達成感や納得感があり、不安が少ないためだと感じます。参加人数の多さでハードルが上がってしまった子もいたが、自身にあった活動を選べるので、楽しく心地よく過ごせた子も多くいました。

助成額 100,000円



コーヒーで描けた自分の気持ち

プロジェクト名 「描いて伝えるわたしの気持ち」～コーヒーとアートでひらく心の扉～

団体名 特定非営利活動法人光かがやく絵顔の種

コーヒーアート作家を講師に迎え、通信制高校に通う生徒28名に、コーヒーを使って自分の感情や思いを作品にする表現の場を開きました。「うまく描けるか不安」と話していた生徒も、正解のない表現に少しずつ表情がやわらぎ、「自分の気持ちを初めて形にできた」と語る姿が印象に残っています。完成した作品は丸亀市市民交流活動センターマルタスで1か月間展示され、「言葉がなくても伝えていい」「今の自分のままでいい」と、自分を受けとめる気持ちが芽生えました。

助成額 100,000円



けん玉で育てたあきらめない心

プロジェクト名 夢企画「きなしっ子わくわくけん玉チャレンジ」～けん玉チャンピオンが来る!～

団体名 高松市立鬼無小学校

鬼無小学校の全校児童を対象に、けん玉日本一の伊藤佑介さんを招き、けん玉ショーと実技に挑戦する企画を開催しました。開催に向けて様々な技に挑戦する児童が増え、できた技にバッジを贈ると意欲がさらに高まり、仲間同士で励まし合う姿が多く見られました。アンケートでは「あきらめない心を学んだ」「ほかのことに挑戦したい」という声があり、けん玉を通して粘り強さや自信が育まれました。けん玉を通じて、地域との交流も生まれています。

助成額 50,000円



声を出してもいい映画体験で笑顔に

プロジェクト名 インクルーシブシネマ in 高松東～『ズートピア2』でつながる未来～

団体名 株式会社オフィス岡 児童発達支援・放課後等デイサービスいろは

普段映画館に行きにくい障がいのある子ども及び医療的ケア児の家族を中心に、声を出しても途中退席してもよい上映環境を整えて映画鑑賞会を開きました。子どもたちはそれぞれのペースで笑ったり声を出したりしながら映画を楽しみました。保護者からは「人混みでも楽しめるんだ」と親も笑顔になったことや、歩き回ることなく長い時間同じ場所で過ごせたことが大きな成功体験になったという声が寄せられ、家族で安心して文化体験を味わえる場となりました。

助成額 100,000円



心の中にある気持ちを表現する日

プロジェクト名 グリーフを手のひらで描く「こどもアートプロジェクト」

団体名 グリーフサポートてらすば

きょうだいを亡くした経験のある子どもたちが、手を動かしながら気持ちを色やかたちで表現するアートワークの場をつくりました。はじめは緊張していた子どもたちも、同じ経験をした仲間とわかると次第に打ち解け、活動の中でいきいきとした表情を見せるようになりました。亡くなったきょうだいの顔を描きながら「しあわせ」「大好き」と思いを表す姿があり、家庭で亡ききょうだいについて話すきっかけにもなりました。

助成額 100,000円



教える側になって広がった世界

プロジェクト名 オニノコプロジェクト「中学校美術部員と一緒にものづくり!2025」

団体名 香川県中学校美術教育研究会

香川県内の中学校の美術部員たちが、3歳から小学生の子どもとその保護者に向けて、革工芸やうちわ作りなどのものづくりワークショップを行いました。ふだんはコミュニケーションが得意でない生徒も、「きれいにできたね」と声をかけると子どもがうれしそうに作品を見せてくれるといった経験を重ね、交流そのものを楽しめるようになりました。「次も必ず参加したい」という声生まれ、校外の誰かと直接関わる体験が、生徒たちの学びと自信につながりました。

助成額 96,360円

